



vol.47 平成28年9月30日

●発行／庄原赤十字病院 庄原市西本町二丁目7番10号 tel.0824-72-3111 ●編集責任者／木曾伸浩

基本理念

庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。

ご自由に
お持ち帰り
ください!!

サマーコンサート 2016開催

8月18日(木)に1階エントランスにて恒例のサマーコンサートを開催しました。今年は、津軽三味線同好会三好会の皆さんに来ていただき、伝統的な津軽民謡から、吉田兄弟に代表される現代曲まで幅広い楽曲を演奏していただきました。

普段はあまり聞きなれない三味線ですが、どこか懐かしく、生演奏ならではの力強い音色に入院患者さんやご家族さんまでたくさんの方が聞き入りました。



8月18日(木) サマーコンサート

骨粗鬆症認定医



整形外科 水野 俊行

この度、日本骨粗鬆症学会認定医を取得させていただきました。この制度は、皆様が広く最適な骨粗鬆症に関する医療の享受を担保することを目的として開始され、現在、全国で613名（うち広島県11名）の認定医がいます。当院で取り組んでいる「骨粗しょう症リエゾンサービス」を、骨粗鬆症マネージャーと協力し進めていき、治療率、治療継続率を向上させ、骨折予防に取り組み、皆様の健康寿命をさらに延ばせるように努力していくたいと思っております。



骨粗しょう症リエゾンサービスチーム



日本医療機能評価機構

患者 さまの 権利

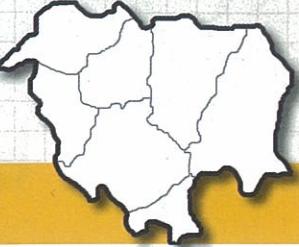
患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に努めます。

- 一、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 二、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 三、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。
- 四、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利（セカンドオピニオン）があります。
- 五、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 六、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 七、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。

地域のために、地域と共に

地域の医療機関は、ともに地域の皆さまの健康を支えてくださる心強いパートナー。このコーナーでは日頃から当院と連携をとっている医療機関を紹介します！

※五十音順で掲載



連携医療機関紹介 vol.08

連携医院のご紹介



備北ななつか病院

内科

〒727-0023
庄原市七塚町国武1613
電話 / 0824-75-2070
FAX / 0824-74-1560



診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~10:00	○	○	○	○	○	/

※休診…月曜～金曜日の午後、土曜日、日曜日、祝祭日

当院は113床全て医療療養病床で、長期にわたり医療を受けることが可能な病院です。長期の療養が必要な方はご遠慮なくご相談ください。

[利用料金] (入院基本料)+(入院時生活療養費)についてお持ちの保険証と患者さまのご状態によって異なります。(その他自己負担金) オムツ代 4,500円／月、洗濯代金 3,800円／月その他レンタル料金等はありません。現在、入院患者さまの1ヶ月あたりの自己負担金は総額 20,000円～30,000円です。



日傳医院

内科・外科・消化器科・小児科
〒729-5125
庄原市東城町川西493-1
電話 / 08477-2-2180
FAX / 08477-2-2582



診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~17:30	○	○	/	○	○	/

※土曜日のみ 9:00~15:30
※休診…水曜 土曜日の午後、日曜日、祝祭日

平成11年より、岡山大学医学部講師を退職して父の診療所を引き継ぎ、東城町の医療の一端を担っています。どんな疾患であれまず診察し、必要な場合には迅速に専門医や専門施設へ紹介します。生活習慣病に対しては治療よりも予防に重点を置いて診療しています。1週間に1日、専門の理学療法士が診療に加わります。少子高齢化が進行していますが、安心して生活できる医療を目指し、地域のかかりつけ医でありたいと考えています。

平成28年度

出前講座

出前講座(～11月末まで)
※各講座については事前に、お問い合わせください。

足・腰の痛み改善方法

開催日 平成 28 年 10 月 7 日(金) 14:00 ~ 15:30
場 所 庄原市保健福祉センター
対象者 一般市民
講 師 理学療法士 谷出純
問い合わせ 庄原市 保健医療課 健康推進係
0824-73-1255

肺の生活習慣病

COPD を知っていますか？

開催日 平成 28 年 10 月 28 日(金) 14:00 ~ 15:30
場 所 庄原市保健福祉センター
対象者 一般市民
講 師 内科医師 竹内泰江
問い合わせ 庄原市 保健医療課 健康推進係
0824-73-1255

検査方法、検査値の見方についても入れて欲しい
糖尿病発症予防について
開催日 平成 28 年 10 月 21 日(金) 14:00 ~ 15:30
場 所 庄原市保健福祉センター
対象者 一般市民
講 師 糖尿病療養指導士 千原直也(検査技師)
問い合わせ 庄原市 保健医療課 健康推進係
0824-73-1255

連携医療機関紹介 vol.08



藤野整形外科医院

整形外科、リハビリテーション科
〒727-0011
庄原市東本町1-1-12
電話 / 0824-72-4646
FAX / 0824-72-4645



診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 15:00~18:00	○	○	○	/	○	/

※休診…木曜・土曜の午後、日曜日、祝祭日

診療内容として、

- 関節痛、筋肉痛、骨折、脱臼、捻挫などに伴う運動器障害
- 関節、脊椎などの加齢による変性疾患
- 骨粗鬆症
- 関節リウマチ、痛風等慢性疾患
- 労災外傷、交通事故
- インフルエンザなどの予防接種

これらの治療の一環として運動器のリハビリテーションを行っています。また、連携医療機関は庄原赤十字病院にお願いしております。



医療法人社団杏亮会 細川医院

内科・皮フ科
〒729-5124
庄原市東城町東城133-1
電話 / 08477-2-0054
FAX / 08477-2-4563



診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~18:00	○	○	○	/	○	/

内科全般、皮フ科を中心に急性期から慢性期において管理治療し又往診にも対応しています。皮フ科では、一般皮フ科(パッチテスト、CO2レーザー治療)、美容皮フ科く予約制ではレーザー脱毛、シミのレーザー治療、ケミカルピーリング、イオン導入等行っております。お気軽に御相談下さい。当医院では他医療機関とも連携、特に庄原赤十字病院と連携し患者様の治療にもお役に立ちたいと思っております。地域の皆様の信頼されるかかりつけ医として貢献したいと考えています。

薬の飲みあわせについて

開催日 平成 28 年 11 月 18 日(金) 14:00 ~ 15:30
場 所 庄原市保健福祉センター
対象者 一般市民
講 師 薬剤師 三戸茉友美
問い合わせ 庄原市 保健医療課 健康推進係
0824-73-1255

透析患者の在宅ケアについて

開催日 平成 28 年 10 月 18 日(金) 15:00 ~ 16:00
場 所 東城支所 1階保健指導室
対象者 医療・福祉・保健・介護関係者
講 師 透析療法指導看護師 川東明美
問い合わせ 東城支所 市民生活室 保健福祉係
08477-2-5131

認知症の対応の仕方について

開催日 平成 28 年 10 月 25 日(金) 13:40 ~ 14:20
場 所 東城支所 1階ホール
対象者 地区住民
講 師 認知症ケア専門士 西野沙織里
問い合わせ 東城支所 市民生活室 保健福祉係
08477-2-5131

ここちよく過ごす秘訣①

～“転ばぬ先の杖”となるもの～

開催日 平成 28 年 10 月 27 日(木) 13:30 ~ 15:00
場 所 比和自治振興センター
対象者 住民
講 師 理学療法士 伊藤俊成
問い合わせ 比和支所 地域振興室 市民生活係
0824-85-3001

ここちよく過ごす秘訣②

糖尿病予防～冬季に気をつけること～

開催日 平成 28 年 11 月 30 日(水) 13:30 ~ 15:00
場 所 比和自治振興センター
対象者 住民
講 師 糖尿病療養指導士 落合ひとみ(看護師)
問い合わせ 比和支所 地域振興室 市民生活係
0824-85-3001

やっつけろ！冬場に多い血管疾患

～口和で脳卒中・心筋梗塞にならないために～

開催日 平成 28 年 11 月 7 日(月) 14:00 ~ 15:00
場 所 口和老人福祉センター
対象者 一般市民
講 師 循環器内科医師 奥原 宏一郎
問い合わせ 口和支所 地域振興室 市民生活係
0824-87-2112



もしもの備え、してますか？



日本は、世界の他の国に比べて、気象、地形、地質などの自然条件から、地震、津波、台風、洪水、火山噴火、土砂災害などの災害が起りやすく、これまで度々大きな災害に見舞われています。

近年の自然災害では、阪神・淡路大地震（1995）、三宅島の噴火、有珠山の噴火（2000）、新潟中越地震（2007）、兵庫県佐用町水害（2009）、東日本大震災（2011）、広島市土砂災害（2014）、熊本地震（2016）など、また、庄原市でも集中豪雨による土砂災害（2010）も発生しました。これまで、私自身、災害のニュースを見ても、自分は大きな災害にあうことはないと心のどこかで思っていました。しかし、近年の災害をみても、いつどこで災害が起こるかわかりません。

地震を起こす原因である活断層は、周辺の海底も含めて日本列島では約2000あるといわれています。近年の調査により、活断層マップもネット上に掲載されていますが、中国地方、広島県はこの活断層はほとんどありません。しかし、活断層は800年から1万年の周期でズレが発生すること、中国地方は岩盤があるためどこに活断層があるのかわかっていないのです。

また、土砂災害危険個所は全国で52500か所あるとされています。広島県は全国1位、なんと32000か所が県内にあります。自分たちの住んでいる地域はどんな危険があり、どんな災害が起こりうるのか、もし旅行先で災害にあったら、など、いざという時のために備えることは大切なことです。

災害の基本は「自助」です。どのような事態においても「自分の命は自分で守る」という備えが必要です。

家族

災害の後は電話がつながりにくくなります。災害発生時は、災害用伝言ダイヤルやSNSを利用するなど、家族で連絡方法や集合場所をあらかじめ決めておくことは必要です。地域の防災マップも市で作成してありますので確認しましょう。



食料

2~3日分で、特別な非常食ではなく普段食べているストックで代用しましょう。



住まい

地震などの際は怪我をしないように安全な家具の配置にしましょう。逃げ道を確保するように入り口付近はものを置かないようにしましょう。

